

## 学校でボランティアをしていただける方へ…

近年、学校を取り巻く状況や諸問題は様々です。子ども達の心に寄り添い、尚且つ集団における社会性を養いつつ、学力の向上を図るには、担任一人の力よりも多くの方々の手があることが望ましいと考えます。しかしながら、「学校」という子ども主体の社会で活動するには、それに応じた留意事項があります。また公的機関にあるための禁止事項もあります。

「学校」のために、貴重な時間と労力をお貸しいただける皆様に、安心して活動していただき、子どもと接することの楽しさ、その成長を感じる喜びを共に味わっていただくためにお読みいただき、ご確認ください。

### 1 守秘義務が生じます。

→ 学校内の活動で知り得た情報は外部に漏らしてはいけません。

### 2 体の接触には注意が必要です。

→ 子どもと親しくするためのスキンシップも、相手の意に添わないことがあります。基本的にはある程度の距離を保つ姿勢を見せましょう。

### 3 言葉遣いには注意を払います。

→ 子どもは、自分に対する威圧的な言葉に敏感です。正しい言葉遣いが求められます。

### 4 子どもの態度に引き込まれないようにします。

→ 子どもは、自分に関わる人を試すかのように、甘えたり、挑発したり、暴言を吐いたりすることがあります。こうした態度に直接的に関わるのは避けるようにします。

### 5 子どもの良いところを見つけて褒めてあげます。

→ 子どもの良さは、ささいな場面で見られることがあります。そのためにも個別に関わる場面以外に、全体を見渡すように観察することも大切です。

### 6 判断を求められる場面は、教員に委ねます。

→ ボランティアといっても子どもからは「先生」として見られることがほとんどです。困りごとや相談ごとを受けた時は、基本的に「聞く」ことに徹すると良いです。

ボランティアをしていただける皆様のご厚意に感謝し、お気持ちに報いるためにもご了解いただきますようお願いいたします。